

Smart Korea Forum in Japan 2015

- 会期：2015年6月2日(火) 10:00～17:00 (受付: 9:30～)
- 会場：ホテルニューオータニ ザ・メイン 芙蓉の間
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町 4-1 Tel 03-3265-1111
- 主催：大韓貿易投資振興公社(KOTRA) <http://www.kotrait.or.jp/>
- 展示企業：IoT、ウェアラブル、モバイル、セキュリティ、クラウド、ビッグデータ
ソフトウェア、ジオフェンシング、Fintech、3Dプリンタ等 50社
- URL：<http://www.kotrait.or.jp/seminar/ite2015k.html> **入場無料**

① 6月2日 10:00 ～ 10:40 【IoT】

IoTで何が変わるのか、韓国の大規模IoT投資と未来成長戦略



KDDI 総研特別研究員
東京大学交流研究員
東京大学大学院学際情報学府博士課程修了
韓国 IT 情報専門家

趙 章恩氏

韓国は2015年春から官民共同で、IoT実証実験を行い、IoTを可能とするウェアラブル・5G・知能型半導体などの技術開発に4,000億ウォン以上投資する計画を発表した。IoTの実効性や安全性などを再確認する韓国のIoT実証実験団地の現況と韓国の最新IoT投資状況、IoT分野の海外協力現況などから日本企業のビジネスチャンスなどを解説する。

<講演者プロフィール>

韓国IT情報専門家として、数々のセミナーで講演。日経BP社の「日経ビジネスオンライン」「PC Online」や「日経デジタルヘルス」「エコノミスト」、「デジタルコンテンツ白書」などに、多数寄稿。日韓を比較しながら、韓国IT情報を分かりやすく提供している。

趙章恩「Korea on the Web」日経BP社 PC Online

<http://pc.nikkeibp.co.jp/article/NPC/20070222/262980/>

日本と韓国の交差点 日経BP社 日経ビジネスオンライン

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/person/20130321/245388/>

趙章恩の「韓国スマートヘルスケア最前線」日経BP社 日経デジタルヘルス

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20140115/327414/>

② 6月2日 11:40 ～ 12:20 【情報セキュリティ】

韓国の最新セキュリティ動向と次世代セキュリティソリューション ～ 韓国の事例を参考にするマイナンバー対策 ～ LG CNS

1. 韓国のセキュリティの動向と最近の情報漏洩事例
2. 安全な金融取引の答えはないのか？
 - 金融会社の対応と統合セキュリティの必要性
 - 次世代のセキュリティシステムの要件
3. LG CNS の次世代セキュリティソリューション
 - 個人情報の暗号化とアクセス制御
 - VDI 網分離
 - 金融暗号化ソリューション
 - FDS とセキュリティポータルソリューション
4. マイナンバー導入に伴う金融セキュリティの重要性

<講演企業紹介： LG CNS> <http://www.lgcns.co.jp/>

1987年に設立された、韓国を代表するSI企業。LG電子が85%出資。売上3兆3,176億ウォン(2014年)従業員10,000名(海外含)。公共、金融、製造、通信など全産業分野で実績多数。

IT 内部犯行防止のために韓国で導入が進むデジタルフォレンジック

DUZON JAPAN

個人情報や会社の機密情報など、内部情報の流出は、流出防止ソリューションだけでは限界がある。韓国では一般企業でもデジタルフォレンジック監査を行うことによって、不正行為を抑制し、問題発生時の対応を迅速に行えるようにし、積極的にセキュリティを維持する動きがある。日本の警察庁や法務省、大手SI企業でも導入実績のある、短時間で監査結果が出て、初心者も扱いやすいデジタルフォレンジックツールを紹介する。

<講演企業紹介： DUZON JAPAN> <http://duzon.co.jp/>

韓国本社、DUZON BIZON は、企業情報化に必要なソリューションとサービスを提供する、韓国の代表的なITリーディングカンパニー。中小企業を対象ソフトウェアの市場シェア1位。ERP、IFRS、グループウェア、セキュリティ製品の開発、販売、コンサルティング、クラウドセンターなどの事業を展開。売上1281億ウォン、社員数1200名。DUZON JAPANは、日本の営業拠点として2005年に設立。

③ 6月2日 13:20 ~ 14:00 【韓国最新ベンチャー動向】

ベンチャーキャピタルが、なぜ今、韓国モバイルベンチャーに注目しているのか



Cyber Agent Ventures Korea, Inc.

代表取締役 海老原 秀幸氏

世界有数のインターネット・スマートフォン先進国である韓国。過去にはメッセージングサービスの Kakao Talk、SNS のサイワールド、オンラインゲームのアイテム課金を産み出し、現在はデリバリーアプリや O2O ビジネスなど、様々な新しいサービスも普及しつつある。そんな韓国ベンチャーは今、投資や事業提携などで、様々な日本企業から注目をされている。韓国への投資活動や経営支援に携わっているサイバーエージェントベンチャー社が、最新ネットビジネストレンドやベンチャー企業・投資トレンドについて解説する。

<講演者プロフィール>

マーケティングコンサルティング会社を経て、2005年6月より株式会社サイバーエージェント・ベンチャーズへ入社。投資先企業に出向し、常勤のボードメンバーとして戦略立案からオペレーション改善等のハンズオン業務に携わり、上場企業へのバイアウトを経験。その後、日本国内にて10数社の投資及び投資先のインキュベーション活動を経験し、2012年10月よりソウルに駐在。代表として韓国企業への投資活動及び経営・グローバル展開を支援。

株式会社サイバーエージェント・ベンチャーズ

<http://www.cyberagentventures.com/>

④ 6月2日 15:00 ～ 15:40 【位置情報活用マーケティング】

顧客を掴んで離さない、IoTの代表、Beacon ～韓国のコマース、流通、決済市場を中心に～ Dinopeople 河潤秀氏



IoT環境では、O2Oの拡散を促進するBeaconが注目されている。非接触式に加え、最大70m内での通信が可能であることから、NFCよりも注目を集めている。さらに、GPSで不可能だった室内での位置把握が可能なのも利点である。韓国のコマース市場、流通、決済市場でのBeaconの事例と今後の展望について説明する。

<講演者プロフィール>

株式会社ディノピープル 代表取締役。KOTRA ICT・SW輸出支援センター諮問委員。ヘテ電子、TJ Media、GAMEVILなどでの商品企画と国内外のマーケティング、新規事業企画業務を担当。韓国ITとモバイル市場の初期段階から、日韓間の架け橋の役割を担った。現在は政府機関の諮問委員や大学などで指導もし、O2Oマーケティング、AD Tech&Tracking System、ビッグデータ、ソーシャル分野を研究している。

オリンピックで注目されるジオフェンシングとO2O事例

DREAM PARKS 理事 盧 寛永氏

1. ジオフェンシングの概要
2. IMMERSIVE KOREAのジオフェンシング技術
3. 活用事例
 - 行方不明児童の捜索支援サービス
 - Smart City・災害警報サービス
 - 次世帯集客モデルとしてO2Oサービス
 - オリンピック選手団向け安全サービス

<IMMERSIVE KOREA> <http://www.immersive.kr/>

スマート機器を活用した(USN Ubiquitous Sensor Network)技術とLBS(Location-based Service)を融合した、ソリューションやサービスの提供しているベンチャー企業。ジオフェンシング技術を活用したスマートデバイス向けプッシュ通知サービスでは、高い技術力を持ち注目されている。DREAM PARKS社は、日本のパートナー企業。

※ 講演タイトル、講演内容は都合により多少変更になる場合がございますがご了承ください。

※ お問い合わせ：KOTRA 東京IT支援センター 03-5501-2847